

第28回白馬村地域公共交通会議 議事録（要旨）

招集年月日	令和5年10月30日（月）
招集の場所	白馬村役場 201・202会議室
開催時間	14時00分～16時05分

■委 員

白馬村 副村長	吉田 久夫	○
北アルプス地域振興局長 ※代理出席：企画振興課主任 今井 溪	早川 恵利	○
大町建設事務所参事兼所長 ※代理出席：維持管理課 管理係長 伊藤 求	竹内 浩平	○
大町警察署白馬村交番所長	江守 貴広	○
アルピコ交通(株)白馬営業所長	工藤 秀行	○
白馬観光タクシー（株）代表	風間 雅裕	○
（公社）長野県バス協会専務理事	松井 道夫	○
公募委員	鈴木 均	○
公募委員	田代 雅子	○
北陸信越運輸局長野運輸支局長 ※代理出席： 主席運輸企画専門官 佐藤 栄治	山岸 忠政	○
アルピコ労働組合川中島バス支部白馬分会長	丸山 智広	欠
アルピコタクシー労働組合大町支部長	五十嵐 哲也	○
白馬村役場 観光課長	太田 雄介	○
白馬村役場 健康福祉課長	工藤 弘美	○
白馬村役場 教育委員会教育次長 ※代理出席：横川辰彦	横川 辰彦	欠

出席13名

■事務局

白馬村 総務課長	田中 克俊	○
白馬村 総務課 企画調査係長	山岸 大祐	○
白馬村 総務課 集落支援員	渡邊 宏	○

■説明者

白馬村観光課観光商工係長	矢口 浩樹	○
--------------	-------	---

<敬称略>

## 1. 開 会<田中総務課長>

## 2. 挨拶<吉田副村長>

会議事項、追加資料等について事務局<山岸企画調査係長>が説明した。

## 3. 会長及び副会長の選任

会長を吉田久夫委員、副会長を工藤秀行委員に選任した。

## 4. 報告事項

(1)2022年度白馬村乗合タクシー（ふれあい号）運行実績報告及び2023年度ふれあい号運行進捗状況報告について<工藤健康福祉課長>が別添資料により説明した。

### 【質 疑】

- ・鈴木委員：今年度、年齢制限をなくしたが、結果的には利用人数は増えていなく、今後増加する可能性は低いのではないかということだが、理由や原因をどう捉えているか。  
→ <工藤健康福祉課長>年齢制限を撤廃したが、運航時間が朝は9時15分から夕方4時ということで、子どもや働いている方が利用できない時間であったこと。夜間の運航があれば違ったかもしれない。12歳未満の子どもに関しては、18歳以上の付き添いが必要という条件があり、子どもだけで学校帰りに塾や習い事に行くために使いにくいということがネックになっていると思われる。

(2)2022年度観光A I デマンドタクシー（HND）運行実績報告及び2023年度夏の観光A I デマンドタクシー運行実績報告について、<矢口観光商工係長>が別添資料により説明した。

### 【質 疑】

なし

## 5. 協議事項

(1)2023年度冬のA I デマンドタクシー運航計画（案）について<矢口観光商工係長>が別添資料により説明した。

- ・吉田会長より補足説明：運行計画を承認していただくために、資料p3の2の運行方法（3）運行方法については、道路運送法第21条のみではないということであれば、今回訂正するということが良いか確認したい。第4条及び第21条若しくは第4条申請ということ

審議の方も訂正するというので、委員の皆さんには読み替えていただきたい。

・検討委員会で村内28個から今回29個所になったということで、1か所増えたところがどこなのか。増えたところを検討委員に通知しているのか確認したい。

→ <矢口観光商工係長>：通知はまだしていない。この会議での変わった個所を含めて通知したい。

増えた個所は、29番目のホテルアベスト八方で和田野の森の一番上部になる。

和田野は咲花ゲレンデ入り口までだったが、その上部が足りないということから追加した。

## 【質 疑】

・長野運輸支局佐藤専門官：4条運行及び21条若しくは4条運行のみということで訂正させて

いただく。21条運行となると実証実験となるが、検証したいところはどういうところか？

→ <矢口観光商工係長>：今回が実証実験2年目となるが、ポイントは料金と収受となる。昨年は無料で運行していたが、今年は料金を徴収するというので、特にマイナンバー連携をどんな形でやっていけるかがポイントとなる。

ゆくゆくは、デマンドタクシーを軸にした統合を見据えており、その辺をポイントとしている。

→ <太田観光課長>：今回のポイントについて補足したい。昨冬シーズンは取りこぼしがあり、今回は有料化することでその部分が落ち着くのか、需給バランスとしてどの程度のものを用意するのか、適切な総量を把握したいということになる。

・アルピコ労組五十嵐委員：昨冬ナイトタクシーをやった人からの話ですが、かなりの予約が入り、休憩時間が取れないということで、2時間に一回取る事になっているが、休憩時間をどのように考えられているか聞きたい。

→ <矢口観光商工係長>：昨冬は、運転手自身が休憩をアプリに入力すると予約が入らないというやり方を試みたが、運転手からは、それだと取りづらいという話があった。今回は、予め予約が入らない時間を設定し、強制的に休憩できるようにしている。

・鈴木委員：ナイトデマンドの検討委員会で、停留所の名称について個人の商用的な名前はいかがなものかという意見があり、今年は難しいという回答だった。ホテルは公共的なものだが、寿司屋等の特定のお店を無料で宣伝していることになるのでいかがなものか。

仮想停留所という概念を導入すべきではないかと思う。ほかの地域でも導入しているところもかなりあるので、導入は可能ではないか。その研究をもっとするべきではないか。

また、マイナカードは村民の80%が持っているということだが、保持に関わらず不利益を被らないようお願いしたい。

→ <太田観光課長> 停留所の名称について検討委員会の中で意見をいただいた。利用する観光客とすれば一番解りやすいが、それに代わる名称が見つからないため、今年は現状で運行させていただきたい。

・マイナンバーカードとの連携については、カードを持っている方はスムーズに連携することができる。持っていない方は一度役場で住所等の確認が必要となるので、ひと手間増えることになるが、不利益は与えない形である。

→ <矢口観光商工係長> : 仮想停留所について、利用者目線では数を増やすことが理想ですが、今回の実証運行では取りこぼしを減らし、利用者を一人でも増やすことを念頭に置いている。次の段階では、バス停を増やすことや住民目線での運行を考えているので、よろしくようお願いしたい。

・吉田会長：(1)の運行計画（案）についての承認を求め、挙手多数により承認された。

(2)白馬村地域公共交通検討委員会 検討結果の報告について<山岸企画調査係長>が資料により説明した。

### 【質 疑】

・鈴木委員：「A I デマンドタクシー」については、懸念事項がたくさんあるがすべてを解決することも不可能だと思うし、村民の全員が満足することも難しいと思うが、可能な限り知恵を出し合い、事務局・各課においても努力されると理解している。

スクールバスの登校時は、来年度盛り込まないと書かれているが、下校時については曖昧なままだが、4月までに検討するということが良いか。

スクールバスのアンケートでも保護者の要望に対する対応が先ではないか？

安曇野市でも、ドアツードアを続けているが、課題は多いと聞いている。

今後も続けていけるかは不明だが、住民の要望を最大限反映してやってきたと言っていた。また、50回説明会を開いたが、25%しかアプリでの予約がないとのことだった。

今後の方向性・スケジュールを明らかにしてほしい。

→ <山岸企画調査係長> : 承認をいただければ、懸念事項を含めて関係三課と共有し進めていく。スクールなら学校・P T A等に報告しながら来年度の制度設計を詰めていくことになる。庁内の決定事項に従い、所管課で制度設計を決めながら予算要求をしていく。このまま進めば、来年4月までに向けて説明会・試乗会等の設計も含めて進めていく予定になると思う。日程が間に合わ

ない場合は、後ろ倒しもあり得るが、目標は、来年4月からの運行に向けて最善を尽くしていきたい。

- ・吉田会長：予算編成に入り、令和6年度から交通網計画に則ってやっていくという村の意思もしており、先程の方針も決定しており、それをどうしていくのかというのは、予算編成上も明らかにしていかなければならないですし、この会議に報告することも出てくると思う。体系等が決まれば、運賃も決めなければならないので、その辺は作業の中で報告することになるが、今日のところは公共交通として大きく進むということで、他の委員さんからも意見をお聞きしたい。
- ・鈴木委員：第3回の検討委員会はあるのか？  
→ <山岸企画調査係長>：5年度のまとめとして2月か3月に計画したい。
- ・吉田会長：承認される方の挙手を求め、挙手多数により承認された。

## 6. その他

なし

## 7. 閉 会<田中総務課長> (16:05)